

# ④ 天満天神社

菅原道真をお祀りしている社(西花尻279)



正式には天満自在天(没後の菅原道真を神格化した呼称)神社

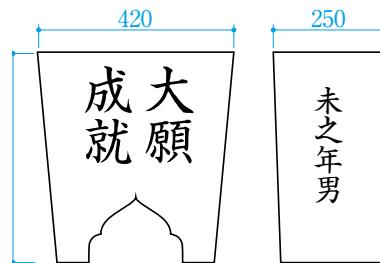
菅原道真を祭神とし、15世紀ごろ、吉井大和守がこの地への移住に際し、氏神として奉斎したとされる。この地域には吉井姓の子孫が多く在住している。ある子孫の話では先祖は播磨から来たと言い伝えられているとのこと。大和守がいかなる人かはわからない。

昭和18年(1943)には、しんせんへいはくりょうきょうしんじんじや神饌幣帛料供進神社に指定されている。

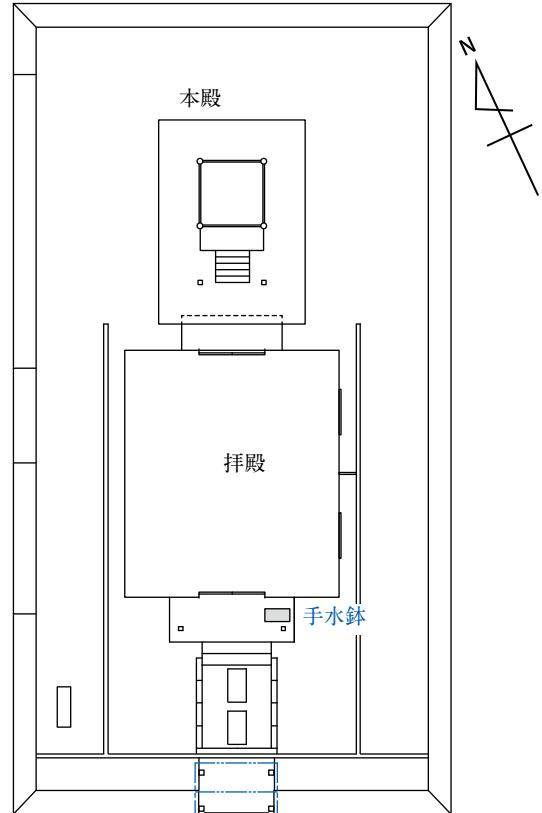
※神饌幣帛料供進神社: 明治から終戦まで、勅令に基づき県令によって県知事から祈年祭、新嘗祭、例祭に神饌幣帛料を供進された郷社や村社を指す



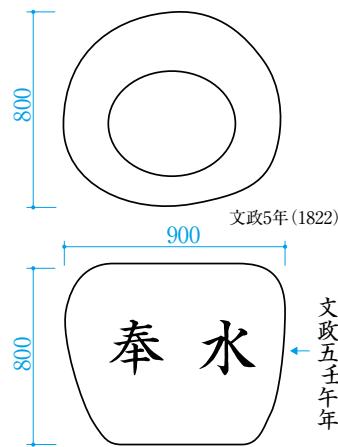
手水鉢 拝殿前



築泥堀 幅8100×奥行19540

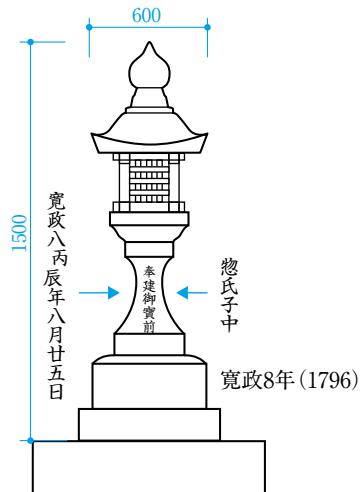
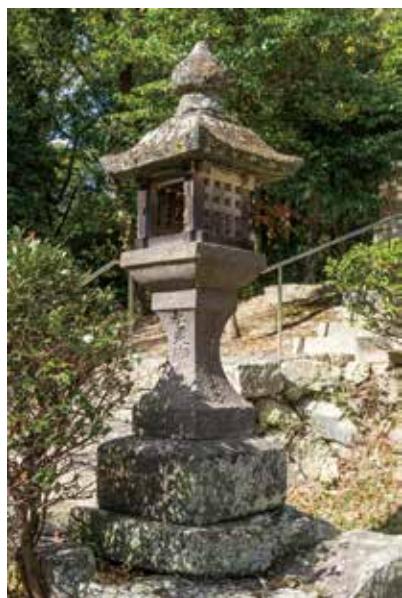


手水鉢

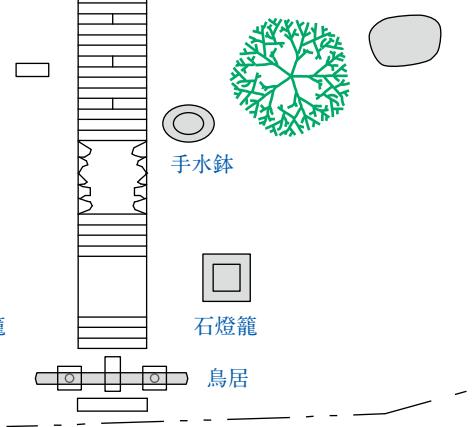


石燈籠

豊島石造りで左右対

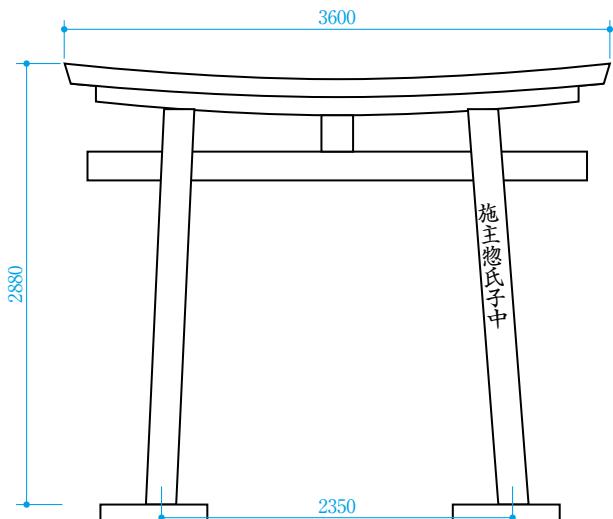


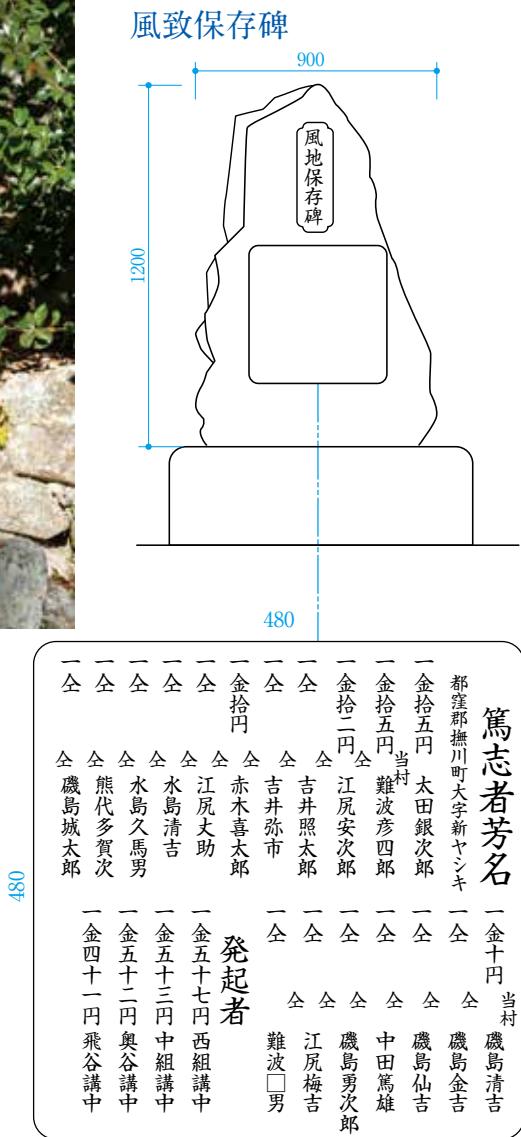
風致保存碑



鳥居 (石華表)

華表(かひょう)は鳥居の意。石造りの鳥居を石華表(せつかひょう)とも言う。





風致保存とは? (碑には「風地」と刻まれているが間違い?)

風致地区とは、大正8年(1919)に制定された都市計画法において、都市内外の自然美を保存するために創設された制度。

村の有志が、この宮を中心に自然の景観を保存し村民の安息の場にした。

帰米者とは?

明治30年代以降、アメリカへの農業労働者として出国し帰国した人。国策としてのブラジル移民は明治41年の笠戸丸に始まる。

大正8年(1919)風地保存の事業を行った際、アメリカ帰りの人6名が世話役をしている。近隣の地区からも、同時期に農業労働者として渡米した人たちが多い。

近くの例では

\*1 東花尻の天神社の記念碑には、15名の在米の氏子の名がある。

\*2 庭瀬八幡神社の鐘の寄進者9名のうち高額寄進者の上位3名は在米者である。

(昭和34年鑄造の鐘に铸込んであったが、現在の物は平成になって再鑄され、寄進者名は書かれていない)

### ※3 薗崎神社(延友)の鐘の寄進者

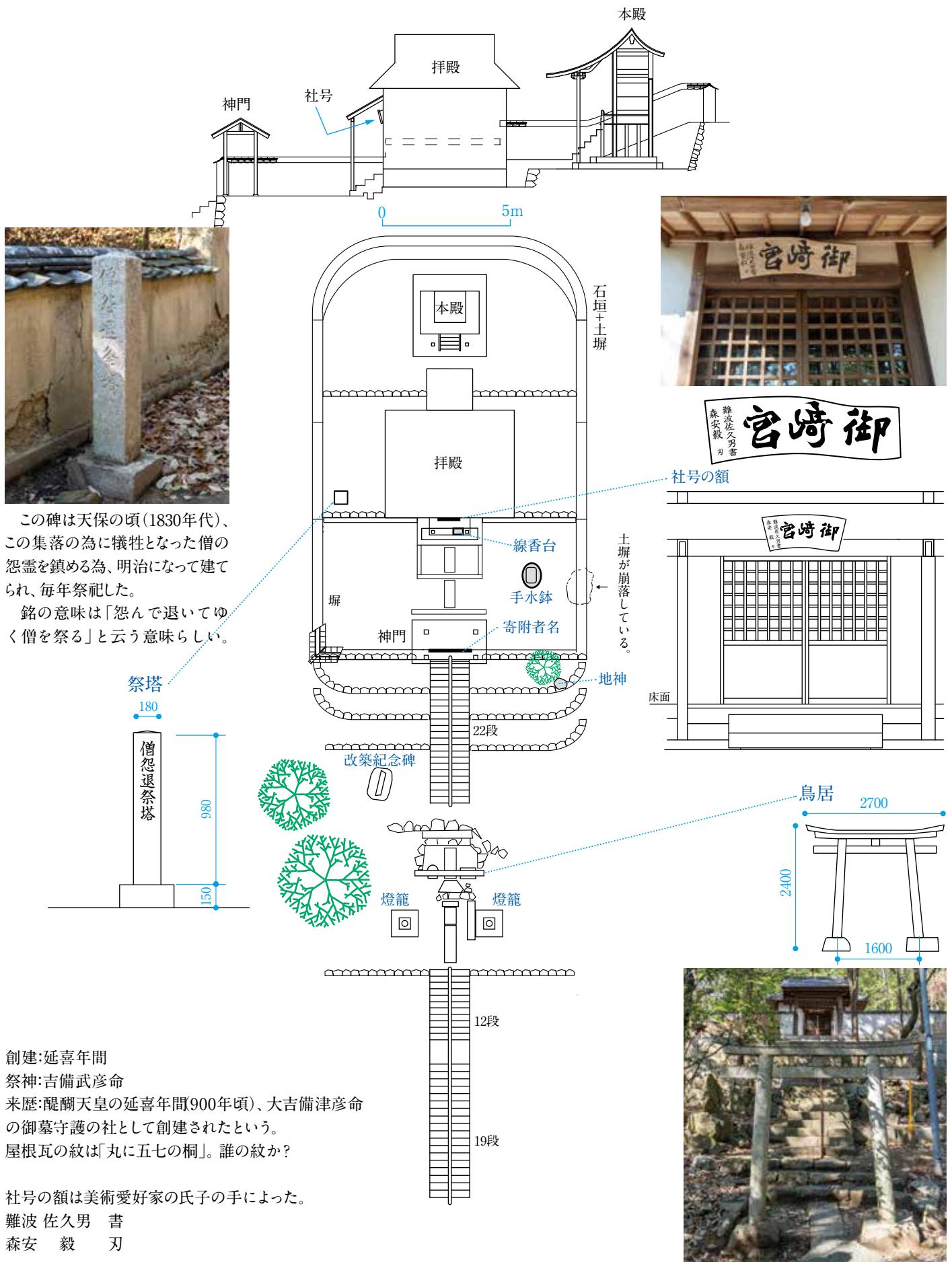
#### ※4 中正院内の渡米者芳名碑 等々

この地域では現在でも、渡米した成功者の話が多くの集落で伝えられている。

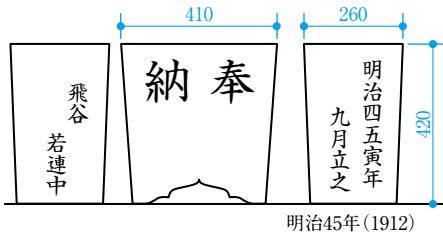
# 5 御崎宮

おんざきぐう  
大吉備津彦命のお墓守護の社(西花尻354-1)

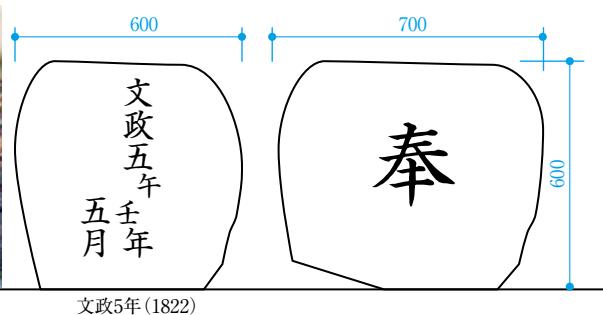




## 線香台



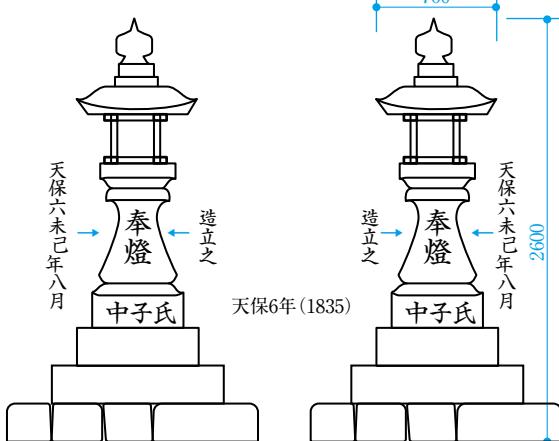
## 手水鉢



地神

江尻一統  
建之

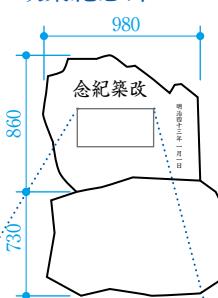
燈籠（西側）



### 神門に掲げた寄附者名



改築紀念碑



明治43年(1910)

檜板(幅2m×高さ25cm)

昭和9年(1934)

明治四十三年一月一日

明治四十三年一月一日